



和光の緑と湧き水だより 会報 Verda 189号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 代表理事 高橋 048-462-9912

身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>
一緒に自然に親しみ、ボランティア活動を楽しみましょう 会員募集中

2018年6, 7, 8月の主な予定表

予定	全体会	新倉ふれあいの森	富澤湧水・大坂ふれあいの森 (地域の会に協力して)	樹林公園
6月	3日 全国水環境調査 18日 NPO サポート事業プレゼンテーション	16日 定期保全	9日(土) 富沢湧水保全体験 20日 大坂ふれあいの森協力	ヒロハア マナ看板作り
7月	14日 自然と歴史勉強会 13:30~15:30 31日 新任教員研修会	七夕用竹切り出し 21日 定期保全	18日 大坂ふれあいの森に協力	
8月	夏休みボランティア体験	18日 定期保全	11日 富沢湧水保全と調査 22日 大坂ふれあいの森協力	20日 ボランティア体験

1. 2018年4月30日 つつじ祭り参加「湧き水コーヒー店と湧き水探検会」

総会直後でしたが、恒例のつつじまつりが開催され、会のテントでは、本格的ドリップの湧き水コーヒーに加え、フジパンに特注したミニアンパンも店頭に並び、好評でした。また、白子宿の特徴を伝える湧き水探検会も開き、祭りに参加した方々に呼びかけ、富沢湧水や大坂ふれあいの森の現地案内を行いました。この祭りには、各自治会からの出店も多く、地域に定着した初夏の祭りとして、熊野神社境内で多くの人たちが和やかに楽しんでいました。身近な地域で湧き水に親しんでもらう活動になっています。



2. 5月27日 和光市緑化祭り参加「竹細工体験と湧き水紹介」



緑化祭りは好天に恵まれ、市役所の展示棟や広場では、様々な緑化に関するイベントが開かれました。当会は「緑の体験活動」の一環で、和光産の竹細工体験コーナーと湧き水紹介を行いました。新倉ふれあいの森から竹をたくさん運び、竹細工の名人杉浦さん手作りの「どんぐりコロコロ」や竹の花器、竹材食器、竹のミニシャベルなどを展示しました。多くの方々が当テントに集まり、親子で細工作りに挑戦したり、新しいアイデアを持ち込まれ、竹のスピーカーづくり挑戦したり、大盛況でした。多くの方々と交流も出来、和光の緑感を高める事業に協力できました。特にどんぐりコロコロは、小さな子供たちがどんぐりを転がして遊び、親子で楽しんでいました。

展示コーナーでも和光市自然環境マップを展示しましたが、配布希望者が多く、人気が高まって、和光の自然を広める活動に大いに役立ってきました。



3. 第四小学校3年生の地域学習で白子宿地域を案内 5月14日(月)

元気な小学3年生72名の地域学習授業として、5月14日学区探検「大坂ふれあいの森・熊野神社方面」が実施され、当会は学校応援団として4名で白子地域を案内し、湧き水探検を生徒たちと楽しみました。四小は台地上にあり、校庭を出発し国道川越街道とオリンピック道路を歩道橋で越えます。その後急坂の大坂を通り、「大坂ふれあいの森」に入ります。緑に囲まれ空気にもすがすがしさが感じられる空間で、自然体感が出来ました。その後、富沢湧水を案内し、湧水が湧き出す地層を見学し、湧き水水路で生き物に触れ合う体験が出来、大いに盛り上がりました。その後白子川まで回り、熊野神社にたどり着きました。暑さが厳しい日でしたが、さすがに元気な子供たち、全員無事に学校に到着しました。四小3年生の地域学習には、和光市自然環境マップを事前に全員に配布し活用しています。

富沢湧水が「白子宿特別緑地保全地区」に指定され、和光の湧き水紹介には、掛け替えのない地域として活用できるようになりました。



4. 30年度文理シナジー学会での発表 2018年5月16日

第44回文理シナジー学会は、筑波大文京校舎で開かれました。高橋勝緒さんが「身近な自然の多面的理解と保全 II 一保全と外来種— というテーマで発表しました。



緑地の保全において、保つべき自然とはどのような状態であろうか。人手を加えない「放置」と手入れされた「花壇」、この双方の狭間に「都市部の身近な自然」を見出したい。との考えを伝え、草地と外来生物については、自然とは固定したものではなく、生物の適応性や人的介入により、流動的であり、外来生物の関与も「自然」の一部とみなす考え方もある。との見解を述べ、当会が行ってきた自然環境の保全について、基盤となる考え方を発表しました。

5. 30年度埼玉県侵略的外来生物調査を実施

今年で5年目になる外来種調査を行っています。調査区域としては、今までに行っていない区域となり、和光市内では、東京都との境、白子の滝の東、城山ふれあいの森、午王山などです。この地域の方は調査にご協力ください。

サクラなどのバラ科樹木を好むクビアカツヤカミキリが県内でも確認されています。埼玉県は環境科学国際センター(CESS)を中心に防除活動を開始しているとのことです。今年度、桜を中心に被害があるかなにかを確認して、報告をするよう、調査活動に加えられました。皆さんの住んでいる地域で探してみてください。

特徴は、樹木の根元などに褐色のカリントウ状で比較的硬いフラス(木くず)が目安です。



オオキンケイギク

フラス

クビアカツヤカミキリ